



## 瀬戸内海篇

海洋汚染、ゴミの漂流などで美しい海岸線が少なくなっているといわれています。山口県は海に接している市町村がたいへん多く、海から学ぶもの、海に親しむ所が多くあります。

近くの海岸、干潟、磯、河口、砂浜、岩場等少し目線を変えて「自然」を素直に見つめ直すといろいろなものが見えてきます。潮の香り、波打つ音さえも心を洗ってくれます。いろいろな海の表情に触れることから、自然を大切にしたい気持ちを育んでいきます。

### 1. 活動できる場所を探そう

瀬戸内には多くの砂浜や海水浴場・干潟、日本海側には海上アルプスや磯があり、一帯を散歩するだけでも自然から学びとるもの、自然の豊かさを感じとることができます。ここでは広々とした海岸でのいろいろな遊びや活動として、瀬戸内の自然を取り上げることになりました。

- (1) 海水 …………… 波、塩、におい、音、味
- (2) 干潟 …………… 鳥、土、砂、小石、小動物など、満ち引き・散歩
- (3) 砂浜・海水浴場 …………… 砂、小石、波、砂の模様、貝殻、海草、漂流物、ごみ、堤防
- (4) 岩場、磯 …………… 魚、小動物、海草、貝、小石、波
- (5) 河口 …………… 野鳥、小動物、どろ、満ち引き
- (6) 港 …………… 工事された海岸、船

以上のような場所を使用するアクティビティを用意してみました。

### 2. 何をどう取り上げて 計画するか

#### 五感と心で

「見る」「触る」「臭う」「味わう」「聞く(聴く)」とともに、心で「感じ取る」等。  
(水平線、潮の香り、波のリズム)

#### 遊びを取り入れて

自然への興味・関心を促す手だてとして、遊びやゲームを取り入れる。  
(砂浜遊び、磯で生き物探し、貝の仲間探し)

#### もの作りの中から

自然物を造形素材として利用し、自然の豊かさ、多様さを感じ取る。  
(砂で作る、海草しおり、流れてきたもので作る)

### 3. 「瀬戸内海編」で準備する一般的なもの

#### (1) 幼児・児童が準備するもの

鉛筆、クレヨン、バインダー、長靴、タオル、ハンカチ、ティッシュペーパー、軍手、スコップ、ナップサック、着替え等

#### (2) 指導者が準備するもの

アクティビティ集、ロープ、笛、マジック、色鉛筆、地図、トランシーバー(携帯電話)、ノート、ゴミ袋(大)、カメラ(デジタルカメラ)、双眼鏡、時計、図鑑、バケツ、救急箱、ラジカセ、懐中電灯、拡大鏡(虫めがね、顕微鏡)、拡声器等……〈環境学習用として透明ケースに入れておくと便利です。〉

### 4. 安全への配慮を心がけよう

- (1) 危険な小動物(クラゲ、ゴンズイ等)を避ける。
- (2) 磯のかき殻、ガラス瓶の破片等によるケガに注意する。
- (3) 天候や季節に配慮するとともに、波打ち際での大波、潮の満ち引きの時間帯にも注意する。





# 瀬戸内海編

プログラム	アクティビティ	
1. 海岸のようす	① 砂浜のようす ② 小石でできた海岸のようす ③ 岩場のようす ④ 港のようす	S1-1-(1~2) S1-2-(1~2) S1-3-(1~3) S1-4-(1~3)
2. 干潟の役割・生き物	① 干潟を歩いてみよう ② 干潟の生き物探し ③ 水鳥のモデルさんこんにちは	S2-1-(1~2) S2-2-(1~3) S2-3-(1~4)
3. 砂浜に学ぶ	① 砂であそぼう ② たくましい海浜植物 ③ 流れ着いた物あつめ ④ 貝がらあつめ ⑤ 海草のしおりづくり <b>海のゆりかご</b>	S3-1-(1~2) S3-2-(1~2) S3-3-(1~2) S3-4-(1~2) S3-5-(1~2) S3-6-(1~2)
4. いその生き物 ウォッチング	① 潮だまりの生き物たち ② 貝の仲間さがし ③ あっとおどろくウミホタル	S4-1-(1~3) S4-2-(1~3) S4-3-(1~2)
5. 海水のふしぎ	① 海の水ってなぜからい ② 塩水と真水の見わけ方 ③ 海水で走る船づくり	S5-1-(1~2) S5-2-(1~3) S5-3-(1~2)
6. 水鳥とともだち	① どんな鳥がいるかな ② 潜水名人はだれだ ③ カモのあそびば	S6-1-(1~3) S6-2-(1~3) S6-3-(1~3)

## 《アクティビティについて》

※各アクティビティの1ページ目は指導者用、2ページ以降は子ども用です。

※実施人数は指導者一人が担当できる、おおよその人数です。

※所要時間はアクティビティの実施時間で移動時間は含んでいません。

※バリエーションは指導者の工夫で行う、応用編にあたります。